

- 「NPO基盤強化資金助成」と「海外助成」の助成先募集
- 「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」受賞記念講演会・シンポジウムを開催
- 「研修会資金助成」「自動車購入費助成」の助成先、「ジェロントロジー研究助成」の対象者を決定
- 財団からのお知らせ

発行者 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257

<http://www.sjnkwf.org/> Eメール：office@sjnkwf.org

2016

vol. **2**

「NPO基盤強化資金助成」と「海外助成」の助成先募集

2016年度「NPO基盤強化資金助成」、「海外助成」の助成先を以下の通り募集しています。

【基盤強化資金助成】9月15日～10月31日

- ①「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成。(東日本地区)
- ②認定NPO法人取得資金を助成。(全国)

【海外助成】9月15日～11月10日

- ・ASEAN加盟国、インドでの社会福祉活動に助成。

※詳細は、当財団ホームページ <http://www.sjnkwf.org/>



第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞 講演会・シンポジウムを開催

7月23日(土)東京都千代田区のグランドアーク半蔵門にて、第17回「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の受賞者、青山陽子氏(成蹊大学ほか非常勤講師)の受賞著書「病いの共同体－ハンセン病療養所における患者文化の生成と変容－」についての講演会を開催しました。



青山 陽子氏

研究者や学生、企業・各種団体の皆様などの参加者からは、ハンセン病療養所＝人権侵害の場、というイメージが、青山さんの講演を聞き、そこに暮らす人々にも生活があり、独自の文化も形成されていた、という新しい視点に気づくことができた、などの感想が寄せられました。

続けて「利用者の「生活」から福祉の「場」を考える」をテーマにシンポジウムを開催しました。参加者からは、北海道の過疎の町、浦河の「べてるの家」の「当事者研究」というユニークな手法は前から気になっていた、統合失調症などを抱える人の生きづらさが、仲間や関係者、家族との連携により少しずつ解消されていくという話は、もっと多くの人に聞いてもらいたい、児童養護施設の子どもたちは、自分の意思に関わらず18歳での自立を強いられている現状を早急に大人が解決しなければいけないと感じた、障害者や高齢者は「施設から地域へ」というのが流れだが、多様なニーズにどう対応していくかの答えはなく、簡単に地域で受け入れることは難しいと改めて思った、などの感想が寄せられました。



シンポジウム

【シンポジウムご登壇者】

コーディネーター：岩田 正美氏 [日本女子大学 名誉教授]

パネリスト：谷口 由希子氏 [名古屋市立大学 准教授]

：橋本 明氏 [愛知県立大学 教授]

：向谷地 生良氏 [(社福) 浦河べてるの家 理事、
北海道医療大学 教授]

コメンテーター：青山 陽子氏 [成蹊大学ほか非常勤講師]

研修会資金助成 対象者を決定

2016年度研修会資金助成金として、介護家族の会、介護家族等を支援する団体を合わせ18団体に、合計約230万円の助成を決定しました。

損保ジャパン日本興亜福祉財団が実施している研修会資金助成は、認知症等の高齢者を在宅で介護する家族等を対象とした研修会に関わる開催費用を助成する、今年度より新設した事業です。

今回が第1回目となり、北海道、東北地区、関東地区を対象に2016年5月から6月にかけて公募したところ22件の応募があり、18団体への助成を決定しました。

2016年度 研修会資金助成 助成先一覧

都道府県	団体名	研修会等の名称、内容	助成金額 (予定)万円
北海道	北海道認知症の人を支える家族の会	研修会「認知症の特性をふまえた対応の仕方を学ぶ(仮題)」	12
北海道	伊達市介護者と共にあゆむ会	創立20周年記念家族介護体験発表会・講演会	5
北海道	北見市認知症の人と家族の会 (よりそいの会)	創立10周年記念「認知症講演会」「認知症の理解と援助」 ～認知症になっても住み続けられる街づくり～	15
茨城県	公益社団法人 認知症の人と家族の会茨城県支部	研修会・認知症男性介護者のつどい	15
栃木県	特定非営利活動法人 福聚会	2025年超高齢化社会に向けて ～認知症の介護の専門性と福祉の社会化を考えるフォーラム～	15
群馬県	特定非営利活動法人 つなぎ手	傾聴ボランティア育成講座	15
埼玉県	特定非営利活動法人 ユーアイネット柏原	在宅介護支援推進セミナー	15
千葉県	公益社団法人 認知症の人と家族の会千葉県支部	研修会「男性介護者として認知症の家族を介護して思うこと」	15
千葉県	NPOキラキラ応援隊	研修会「在宅療養家族の相談・支援」	12
千葉県	はなみずき (市原市認知症介護の会)	フォーラム「認知症の方、若年性認知症の方への理解と支援」	15
千葉県	NPO法人 ケアラーネットみちくさ	シンポジウム・勉強会 柏市在住の介護者の集い 「介護者と学びと介護者同士の語らい」	15
千葉県	特定非営利活動法人 こだま	おしゃべりカフェ睦沢 in こだま・地域公開介護講座	15
東京都	介護者のつどい東大和	映画「ペコロスの母に会いに行く」上映会とトークセッション	15
神奈川県	公益社団法人 認知症の人と家族の会神奈川県支部	講演会「看取りのコミュニケーション」～終末期医療を考える～ ターミナルから看取った介護家族のつどい(年3回)	15
神奈川県	特定非営利活動法人 さくら茶屋にししば	講演会(年2回) 「認知症これだけ知れば怖くない」「家族の介護の経験から」	11
神奈川県	認知症を支える家族の会 かまくらりんどうの会	連続講座と研修会「笑顔を取り戻す介護(仮称)」	7
神奈川県	平塚市介護の会「はまゆう」	シンポジウム「在宅介護を体験して得た大切なこと」	6
神奈川県	厚木市認知症を抱える家族 すみれ会	介護講談「ふまじめ介護 一日頃の介護のヒントにー」	10

ジェロントロジー研究助成 対象者を決定

2016年度ジェロントロジー研究助成として、16件の対象者に合計約800万円の助成を行うことを決定しました。損保ジャパン日本興亜福祉財団が実施しているジェロントロジー研究助成は、高齢者福祉の増進に資することを目的にジェロントロジー（老年学）に関する社会科学・人文科学分野における研究に助成を行う事業です。今年度は、2016年4月から7月にかけて公募したところ、48件の応募があり、16件の助成を決定しました。1993年にジェロントロジー研究助成を開始し、昨年度までの22年間で助成先は累計217件、助成額は合計約1.4億円となっています。

2016年度 ジェロントロジー研究助成 対象者一覧

形態	対象者	所属	研究テーマ
共同	伊藤 直子	日本医療科学大学	高齢者の嚥下機能に及ぼす呼吸筋トレーニングの効果
共同	伊藤 美智予	認知症介護研究・研修大府センター	災害時における認知症ケアマネジメントに関する研究－地域で暮らす認知症のひとと家族が直面する課題と支援策の検討
共同	井上 忠俊	恩賜財団済生会 むさし苑グループ 大野城市南デイサービスセンター南風	地域在住高齢者における眼球運動と歩行の安定性の特徴－認知症早期発見に対する評価手法の妥当性の検討－
単独	大木 裕子	東洋大学	文化の消費者としての高齢者～「大人の遊び場」創出による豊かな生活の実現
共同	岡崎 研太郎	名古屋大学大学院	要介護・要支援の在宅高齢者を対象とした参加型演劇ワークショッププログラムの改良と効果の検証 ～社会実装を見据えて～
共同	岡村 毅	東京大学医学部附属病院	認知症の人の社会的包摂を実現するための稲作ケアの試み
共同	小倉 真衣	京都大学大学院	住民同士のつながりが強い中山間地域における高齢者の「自ら選んだ」社会的孤立とフレイルおよびQOLとの関連に関する研究
単独	木村 由香	横浜国立大学大学院	高齢者が終活を進めるうえでの課題と支援のあり方に関する研究
単独	榊原 良太	鹿児島大学	高齢者の幸福感の上昇はいかにもたらされるのか：感情制御発達という視座からの検討
共同	鈴木 淳一	東京大学	ヒト型ロボットによる認知症患者の認知機能の改善効果の検討
共同	高橋 幸裕	尚美学園大学	介護現場における介護職と看護職による「看取り」と「死」の持つ意味の差異を踏まえたケアの提供方法と連携方法の構築に関する研究
単独	長尾 匡子	千里金蘭大学	高齢者の終末期医療についての意思決定に関わる看護師への支援プログラムの開発－インフォームド・コンセントにおける専門職としての役割遂行を目指して－
共同	永野 志歩	高知大学医学部附属病院	老年期の軽度認知障害者とADHDの有病率の検討
単独	野坂 真	早稲田大学	災害後の地域社会における高齢者の生きがいづくりと経験・記憶の継承に関する実践的研究－岩手県大槌町における地域アーカイブ活動を中心事例として－
共同	原田 和弘	神戸大学大学院	ワーク・エンゲイジメントが高齢夫婦の満足度・精神的健康に及ぼす影響
共同	松本 博成	東京大学大学院	要介護高齢者におけるデイサービスでの社会化プロセスに関する縦断的質的研究：デイサービスを利用し始める要介護高齢者は、その場の文化をどのようなものとして理解し、その場のコミュニティにどのように溶け込むのか？

自動車購入費助成 助成先を決定

2016年度自動車購入費助成金として、障害者に対する福祉活動などを行う10団体を対象に、合計約1,000万円の助成を決定しました。

自動車購入費助成は、障害者に対する福祉活動を行う団体からのニーズが高い自動車購入の資金を支援する事業です。

今年度は、西日本地区（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）を対象に、2016年6月から7月にかけて公募したところ、104件の応募をいただき、以下の10団体に助成を決定しました。

損保ジャパン日本興亜福祉財団では1999年に自動車購入費助成を開始し、昨年度までの17年間で、助成先は累計173団体、助成額は合計約1.7億円となっています。助成先は以下のとおりです。

2016年度 自動車購入費助成 助成先一覧

所在地	団体名	主な事業 ※事業の一部をご紹介します	助成金額 (予定) 万円
滋賀県	特定非営利活動法人 しが盲ろう者友の会	盲ろう者（視覚と聴覚の両方に障害を持つ人）の自立と社会参加促進の支援活動	100
大阪府	特定非営利活動法人 互楽会	無添加の原材料でおかきやあられの製造販売などを通じ障害者の自立を支援	100
大阪府	特定非営利活動法人 地域生活ネットゆっくりっくかわちながの	障害のある人、非就労の人、高齢者などが共に働き稼ぐ共働事業所の運営	100
兵庫県	特定非営利活動法人 兵庫大阪ヒューマンホープ	封入作業や製品の加工、組立、製造などの軽作業を通じた就労支援と就職斡旋	100
岡山県	特定非営利活動法人 いるかスマイル	金属リサイクル・サンキャッチャー等の雑貨作りで一般就労を目指す	100
岡山県	特定非営利活動法人 ワークサポート	小箱・小物の梱包作業、農業としてもち麦の生産、お弁当配食と高齢者の見守り	100
熊本県	特定非営利活動法人 舞勢	青果物のパック詰め作業や木耳の乾燥・収穫作業、段ボール製品の加工	100
熊本県	NPO法人 誠桜の樹	重症心身障害児（者）に対する生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス	99
鹿児島県	特定非営利活動法人 ともいき	お弁当・お惣菜の製造・販売を通じた職業能力訓練・就労支援、家族の支援	100
沖縄県	NPO法人 夢WALK	障害やひきこもり、不登校、ニートなどの若者の居場所づくり、生活訓練	100

※助成金の贈呈式は、損保ジャパン日本興亜株式会社の支店と協力のうえ、助成先団体にて開催する予定です。

財団からのお知らせ

●福祉マネジメント研究会シンポジウムが開催されました

9月12日に京都同志社大学で、「ニーズ対応型福祉サービスの開発と起業化」をテーマに研究会・シンポジウムが開催されました。今回は、ゲストに藤野 将睦氏〔ビーサイドユー(株) 代表取締役〕、山口 浩志氏〔(特非) どりーまっ サービス理事長〕、戸枝 陽基氏〔(社福) むそう 理事長〕、戸枝 陽基氏〔(社福) むそう 理事長〕をお招きして、ニーズをどうキャッチし起業化したか、現在のソーシャルワーク教育に欠けているものは何か、などを発表いただき、参加者全員で論議を深めました。



●「認知症の人と家族の会」などが主催するイベントの後援をしました

●2014年度ジェロントロジー研究助成者の研究成果を取り纏めた「ジェロントロジー研究報告No.12」を10月に発行する予定です

ご希望の方は財団事務局までご連絡下さい。



●東京ビッグサイトで開催された第43回 国際福祉機器展H.C.R.を後援しました